



第130号 (季刊)
平成31年4月
田中野田町内会

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>



自主防災会を機能させたい

町内会長 和気 茂

2月11日に岡山中心部で5年ぶりの積雪があったが、気温は平年より高く推移している傾向にあるという。

この時期、入学試験と合格発表、卒業式の知らせ、入社式の動きなどが聞こえてきます。また、桜の開花によって夢と希望の新年度が始まります。

田中野田町内会においても役員会の改選が行われ、任期を終えられお世話になった役員の皆様にはお礼を申し上げます。また、新任の役員の方々には今後共よろしくお願ひいたします。

昨年7月には甚大な西日本豪雨災害が起き、同じ学区内の久米・今保地区では約700所帯にわたって家屋が浸水した。

この災害の教訓もあり、各連合町内会や、単位町内会等において、「自主防災会」の設立や、いかに組織を機能させ目的に沿わせていくかの動きが出てきた。行政の岡山市からも物資設置等に予算をつけ、各单位町内会に組織づくりや活動を働きかけている。

我が町内も現状では、「町内会防災会規約」は設けられているが、当会役員には町内会役員が兼務する形態となっており、女性が半数を占めていること、過半数の役員は2年で交代していることもあり、組織図はあるものの、継続的な防災活動までには至っていないのが実情である。そこで、「活動や、目的が機能されるような組織づくり」を行いたいと考えている。

この「町内会防災会」の運営主体は町内会とするが、自助・共助の精神を基本に、町内会会員からメンバーを幅広く募り呼びかけをする。全体から役員構成などを決め、活動に結び付ける。

何かの災害が起き共助への行動を起こす場合は、まず「自分や家族、住まいなどの安全が確保されている」という自助を優先されることは必須と考えます。

また、町内会防災会が活性化し機能するためには、防災に関する学習会や防災訓練などを行う必要があります。

この地域の土地柄がやや低く、北方向より雨水を受け止める状態にもあるため、今後の災害に備えての準備がより求められるものと強く感じている次第です。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

<新元号の時代どうなる？>

戦後の昭和時代を過ごした私。テレビ・冷蔵庫・クーラー・車など便利なものがどんどんと現れた。いわゆる高度成長期であった。

平成の時代は、パソコン・スマートフォンの普及、サッカーブームの到来、少子化による人口減少への移行など。さて、新元号の時代はどうなる？

平成31年度

田中野田町内会

通常総会のお知らせ

日時=平成31年4月21日(日) 19時～

場所=田中野田公会堂

